

南九州市民歌

詞：石原 一輝
曲：田口 博巳

♩=110

しおの かおりの あさい かぜー ふいら てきて
 かわの かながれが だいな ちをー ひらきて
 かも るぶんか と でん と うー うけ

あけゆく きぼうの ひがの ぼるの ころふれあぐ
 きらめく いなほの ちゃがのみ どり のちはぐや
 あらたな りそ の ひがも え りる ひかりか

う この ふるー さとは えがおでーくらす ゆめ
 む この ふるー さとは へいわをーいのる あいた
 く この ふるー さとは あしたをーひらく う

が あ るここのに うま れたー このよーろこび
 が あ るここのに いこみ えるー このよーろこび
 が あ るここのに すみ ゆくー このよーろこび

よ ゆ た か にー ー の び ゆ くー み な み
 よ し み あ わ せー ー あ ふ れ たー み な み
 よ み ら い へー ー は ば た くー み な み

きゆう しゆうー ー
 きゆう しゆうー ー
 きゆう しゆうー ー

一 潮の香りの 朝風ふいて

あけゆく希望の 陽がのぼる
心ふれあう このふるさと

笑顔でくらす 夢がある

ここに生まれた このよろこびよ

豊かに伸びゆく 南九州

二 川の流れるが 大地をひらき

きらめく稲穂と 茶のみどり

命はぐくむ このふるさと

平和をいのる 愛がある

ここに憩える このよろこびよ

しあわせ溢れる 南九州

三 薫る文化と 伝統うけて

あらたな理想の 炎がもえる

光かがやく このふるさと

明日を拓く 詩がある

ここに住みゆく このよろこびよ

未来へ羽ばたく 南九州

南九州市 市民憲章

わたくしたちは、郷土の豊かな自然と歴史・文化を大事にし、世界の恒久平和をめざす、創造と活力に満ちたところやすらぐまちをつくるために、市民憲章を定め実践します。

一 わたくしたちは、平和といのちの尊さを語り継ぎ、豊かな自然を活かした美しいまちをつくりまします。

一 わたくしたちは、ふるさとへの愛情と誇りをむねに、進んで学び、生涯学習のまちを築きます。

一 わたくしたちは、きまりと責任を重んじ、やさしく礼儀正しい人になります。

一 わたくしたちは、たゆまぬ努力で産業を興し、くらしといのちが輝く住みよいまちをつくりまします。

一 わたくしたちは、心身の健康に努め、あたたかい家庭と、共に支え合う地域社会をつくりまします。

〔平成二十年十二月一日制定〕

南九州市「平和を語り継ぐ都市」宣言

私たちの郷土は、温暖な気候と豊かな自然、多くの歴史的文化遺産に恵まれ、これらを大切に継承しつつ新たな文化を創造するという先人のたゆまぬ努力と英知によって発展してきました。

しかしながら、先の大戦では、特攻という人類史上類のない作戦により多くの若者がこの地から南の海へ飛び立ち、かけがえのない命が失われました。

私たちは、現在の暮らしが戦争による多くの尊い犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

そして今、南九州市は、安心・安全な南の食料供給基地として新たな歩みを始めました。

南九州市は、次の世代へこの豊かな郷土を引き継ぎ、限りない発展を続けていくために世界の恒久平和を願い、非核三原則の堅持を求め、平和と命の尊さを語り継いでいくことを決意し、ここに「平和を語り継ぐ都市」を宣言します。

平成20年8月15日宣言

南九州市